

刊夕日九十月二十

# 常警日新聞

日刊

發行所 常警日新聞社  
 電話 六二〇〇  
 印刷所 常警日新聞印刷局

## 郡下兒童唱歌會感想

荒 生

(4)

三〇、スキー(齊)平三 昨年のラヂオコンクール課題だつたがあの時の一等のにも増してよく歌つた様に思ふ。

三一、欠

三二、ひよこ(遊)平二 可愛らしくよく出来た。

三三、白うさぎ(齊)赤一 普通の出来。

三四、冬景色(合)高久 これは單音でやつた方がよかつた、この低音はよい曲でないからいくら努力しても美しくはならぬだらう。

三五、富士山(齊)錦 人員小數のため富士山の雄大さに乏し、教室の如き場所であつたらさぞかし美しく聞えたらう。

三六、針店の客(遊)神谷 上出来、踊りもよし、伴奏裝飾音符をはつきり出すと更に生きたらう。

三七、非常時日本の歌(齊)小名 これは當然、二十三人で力強く歌ふ歌であつたのに三人とは何と心細いことか、あれだけ上手に歌はせられる技があつたなら三十人でも立派に歌はせられたのに――

三八、み寺の鐘の音(合)勿來高 ハーモニイよし、但し小人數のため力弱い、しかし男聲をよくあれまで整いたと敬服した。

三九、くりから谷(齊)平二 良好。

四〇、早春賦(獨)四倉 これは子供には荷が勝ち過ぎた感があつた、もつと樂に歌はれる曲を選ばばあの子供としては可成りのところまで歌つたらう、呼吸法の研究を更に望む。

二 部

番外、オルガン獨奏、ピアノ獨奏共に敬服の外なし、石城の小學校の先生にもあんな難曲を易々とこなす人がデヤン／＼出来て来たことは何と言つても頼もしい事だ、兩君の絶いざる研さんを祈る。

番外、お、乙ばり(合)小學校に於いて混聲四部をあれまでこなした指揮者に先づ敬意を表して置く、指揮振りも中々鮮かなもの更に止まざる精進を祈る。

四一、園遊會(合)勿來 尋六にはちと荷が重すぎた感ありしかしあれまで仕上げた努力は認める、後章の裝飾音が十六分音になつてしまつたのは玉にきづであつた。

四二、冬景色(齊)内郷一 樂々と美しく歌へた。

四三、かへるとくも(遊)内高 踊り見事歌も良。

四四、小馬(齊)小川 良好前奏のリズムと歌のリズムと離れた感が遺憾。

四五、茶つみ(合)平三 良好、尋常科の混聲は又別な美しさがある、教師の努力に敬意を表す。

四六、菊の花(遊)植田 實にあどげなく可愛らしい出来、一年として申分なし。

四七、一太郎やあい、強い兵隊。良好元氣あり粗暴に陥らざるところにうま味あり、延聲不足の感あり。

四八、納涼(合)入山 美しいそして涼しい感じが十分に出た成功。

四九、影法師(遊)平三 上出来

五〇、加藤清正(獨)湯本 上出来なれども發聲に尙一段の考慮を要す。

五一、漁火(合)四倉 郷土を考へた最適の材料なれど余りに生氣乏し。要所にもつとフォルテを要す。

五二、我子眠る、千早城 (齊)草野 子守歌と戦歌とのコントラストの極端なる如く強弱の發想余りに極端であつた、小學校の教材にはビアニッシモ、フオテシモは使用せずとも間に合ふ

五三、雀の母さん(遊)内郷 好。

五六、さよならさよなら (遊)小名 愛らしい出来。番外、親子ひな(遊)入野 愛らしい出来。

## 高久病院

院長 醫學士 高久 忠  
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

平町田町 電話五二三番

内科小兒科 外科花柳病科  
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

## 忘年会 新年會

萬事御希望に副ふやう勉強して御奉仕致します

御通知下されば當方から御相談に參上仕ります

平町紺屋町

### 住吉屋本店

電話一五九番

## 喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します

平町町六九

### 喜多流 白土會

電話一二七番

◇詳細は本會へ御問合せ下さい。

## 十二月十七日ヨリ 歳暮引大賣出し

奉仕品山種………

お買上金二圓毎に福引券呈上

景品

特等……二十圓商品券  
 一等………仙  
 二等………仙  
 三等………仙

七五三 尺三帶 錦紗友仙 御紋附  
 祝着 富士絹友仙 モス友仙

衣裳 丸帶 江戸袴 御召 袴地 御紋附

### 三井吳服店

平電話三八番

## 森寅考案の 殿中揚

一般御家庭御惣菜用おでん。鍋焼の材料に最適な美味食品。一本三錢是非御試食を乞ふ。……

平町一丁目

## 不孫寅

お惣菜用 さつま揚 吉原揚

電話一四一番

## 中村齒科醫院

平町 鍛冶町七

# 師團長宮御豫定

## 輝く此の光榮

### 各方面を御巡視

#### 廿一日午後零時五十五分御着

東久邇第二師團長宮の石城地方御巡視は既記の如く愈よ來る廿一日午前七時二十五分仙臺驛御發なされ郡山を御經由にて同日午後零時五十五分平驛に御着左記御豫定を以つて將校演習御統監の傍ら御巡視遊ばされる事に確定し御台臨の光榮を擔ふ平地方は稀れの賑ひを現出すべく御警衛に當る平署では早くも準備に忙殺されて居る尙師團長宮殿下の隨行員は倉茂第二師團參謀及び南部武官の兩氏である

- (廿一日)
- 午前七時二五 仙臺驛御發
- 全一〇、〇七郡山驛御着
- 全一〇、二八郡山驛御發
- 車中で御中食
- 午後二時、五五 平驛御着
- 驛にて拜謁
- 全一、〇〇平驛御發自動
- 全一、一五 磐城炭礦淺野
- 記念館御着(二十分間)磐
- 炭狀況言上
- 全一、三五 同所御發
- 全一、四五 綴坑御着
- (四十分間)坑内御視察
- 全二、四五 同坑御發
- 全二、五五 白水阿彌陀堂
- 御着(十五分間)御視察
- 全三、一〇同所御發
- 全三、三五 住吉屋本店御
- 宿泊
- (廿二日)歩兵二九聯隊將校
- 現地戰術御視察
- (廿三日)午前九、〇〇 住吉
- 屋本店御發
- 全九、四〇 湯本町經由小
- 名濱築港御着(廿分間)御
- 視察
- 全二、〇〇 同所御發
- 全一〇、二五 豊間燈台御
- 着(廿分間)御視察(四十
- 分間)全所住復徒歩

- 全二、二五 同所御發
- 全二、〇〇 平町警城片
- 倉工場御着(一時間)御中
- 食(廿分間)工場御視察
- 午後一、四〇 工場御發
- 全一、五〇 平驛御着
- 同二、五八 平驛御發
- 同六、二五 仙臺驛御着

### 書初め展覽會

#### 平第一校に開く

平第一小學 校では來春 正月二日全

校兒童に書初めを行はせ八日より三日間展覽會を開催する事になつたが各學年の課題は左の如くである

(一年)フジノヤマ(二年)太平のはる(三年)新年を祝ふ(四年)孝は白行の本(五年)東風萬里太平春(六年)春入千門多瑞色(高二)初日今將上曉天千里紅(高二)春入梅花香氣動又樹櫻酒祝新年

### 復舊漁船

#### 各濱で検査

既報濱三郡災害漁船復舊資金は漁業組合を主体として既に郡下各漁港へ九万四千圓の貸出建造漁船のうち約半數は復功したので本十九日から廿四日迄小名濱水産試験場では係員を總動員して検査を行ふ事になつた

### 鹿島組合擴張

鹿島村農事實行組合では組合員

の擴張を行つて組合事業の確立を計る爲め廿日午前十時より組合長宅で協議會を開き組合加入宣傳の方法を協議する

### 看護婦急派の求めに應じます

平町南町

### 平看護婦會

電話三〇七番



### 巷の話題

「この頃の中學生は生意氣でいかに。さアこの河馬を書いたのは一體誰だ」河馬とあだ名されてる××校軍教の鈴木軍曹は心ひそかにサテも美事な自分のカルカチュアだと思ふと一層腹が立つのであるが、その日もその翌日も犯人檢舉のなく結局級長の謝罪でどう

やら河馬禍も解消したもので爾來二日がかりで犯人を擧げ得ないトナマは河馬に非ずバカだと云ふことになり一層その名譽を確保したのであります。

### 村名譽のために

本縣鮫川村の青年たちは「非常時は實行なり、實行は吾々の腕より」といふ處かな牛の品評會を催し實行力の獎勵をすることになつたが、同村毎の會でも「そんなら

### 秋田縣山本郡金岡村の若衆

衆たちは農村經濟の更生徹志會といふ非常時に相應しい會合を組織し、その程の初會合を催したが甲論乙駁

意見なか／＼一致せず結局殘念だが解散といふ事になり、發會式を兼ねる閉會式なんて、世界廣しと雖もオラが村ばかりだ、飲まずんばあるべからずと飲む意見だけは不思議と一致、たつた三人で五升の酒を一滴残らず平らげ居酒屋の更生を圖つたことであつた。

### これ酒に目のない

秋田縣北秋田縣前田村の宮野さん(七)婆アさん、こつ

そりドブコクを作つてチビ／＼楽しんでるところを見つければ、罪金四十圓に處せられたが一向平氣なもの罰金はあさつて來ないなどいづかな納めやうとしないので所轄署でも立腹の餘り今日こそは是が非でもと意氣込んで行つて見ればおさん婆さんは一足先きにあの世へ旅立つた後だつた。出張の係員も拍子のけし墓痕い、鮮かに「御佛四十圓」南無阿彌陀佛

貴方の御家庭に お手不足は御座いませんか 本會を御利用下さい 直に家政婦を派出します

親切 料金は極めて低廉で 妊産婦の御家庭にお留守居番 御病人の付添 年寄やお子さんの付添 炊事や雜用

平町紺屋町二(電話呼六五二) 上原家政婦會 會主産婆上原通子

歳末も愈々押し迫つて参りまして非常時日本が更に非常時をつぐるを呈してゐます。此の秋に際會し弊店と御力ながらお客様本意として... よく備つた店 買よい店 確實な店

平町二丁目 根本眼鏡店 時計店 電話六〇七

毛糸 今年度新色全部入荷致しました。相變らず御引立の程を。(色見本帳進呈) 合名 株式会社 シモトヤ糸店 平町 電話十四番

# 亭主に捨てられ モルヒネを呑む

## 二兒を抱へて生活に悩み 薬を間違つた薄幸な女房

平町大工町居住佐々木トシ(三)さんは二年出不身持な亭主が家財を賣り拂つて情婦と共に行衛を晦してつので二兒を抱へ他人の洗濯や裁縫をして細い煙りを立て居るうち本年五月頃から頑固な喘息に冒されその薬と誤つてモルヒネを嚥下し重態に陥り町役場で目下救助の方法を構じて居る

# 少年消防 活動開始

平第一小學校少年消防隊では火災季に入つたので近く全生徒徒より火防宣傳の標語を募集し之れを印刷し附し全町に配付すると

# 奉安庫

## 地鎮祭

明日三校庭で  
既報平町では過般工費千五百圓を投じ平第一第二兩小學校及び商業學校に奉安庫を建設すべく諸般の準備中であつたが明日午後一時より三校庭でそれ／＼地鎮祭を行ひ愈々着工する事となつた

# 平商の音楽 プログラム

既報明  
十時より平商講堂に於て開催される同校秋季辯論大會に出演する音楽部のプログラムは左の如くである  
1 元緑花見踊、2 オリエントダンス、3 越後獅子、4 丘を越へて、5 オリエンタルキヤラバン、6 獨奏四年梅津

# 師走迫る頃 貧しい家庭へ 贈り物の数々

既報平町共済事業助成會の貧困者救済事業寄附金募集は去る十五日より取纏めを開始し昨十八日を以て終へたがその額合計四百五十八圓四十錢に達したので本月末貧困者に夫々支給すると各日の寄附額左の如くである

- (十五日) 百四圓八十錢
- (十六日) 百三十五圓五十五錢(十七日) 百十五圓五十五錢(十八日) 百三圓一錢(計) 四百五十八圓四十錢

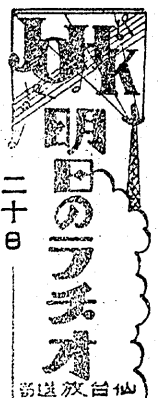
# タワシで 凍傷豫防

平第二小學校では過般來全校兒童の凍傷豫防の爲め衛生タワシ一ヶ宛を與へ使用させてゐるが今年には是れが効を養し目下の處重患者は昨年の百五十九名に比し僅か五名と言ふ好成绩で校長始め職員一同大喜びである

# 裁判所だより

△既報前後七十三回に亘り郡下各所より鶏専門に盗み他に賣却して其の日暮しを立て居た江名町大字上神白字大澤二七生れ、目下住居不定前科六犯丹野梅次郎(三)に對する言渡しは午後二時より平區裁判所に於いて香西判事係り清田檢事立會の下に開廷され判事より檢事の求刑通り懲役七年の言渡あり直ちに服罪した

△既報又葉郡浪江町大字権現堂宇島喰九、土工鈴木壽(三)が去る五日午後五時半頃同町材木商阿久津信平氏の自轉車一台(價格二十五圓)を窃盜逃走同町佐川庄八郎に七圓で賣却した窃盜事件は本日午前十時より平區裁判所に於いて中島判事係り三堀檢事立會の下に開廷され判事より懲役一年を言渡された



明日のラジオ  
今晚も明日も北西の風晴曇半す

- ### 今晚の部
- 後六、〇〇 子供の時間 童話劇「或るクリスマス夜の出来事」仙臺基督教童話研究會
  - 後六、二五 基礎「フラン」ス語講座 目黒三郎
  - 後七、三〇 講演「最近の米國」若杉要
- ### 明日の部
- 後八、〇〇 民謡劇 民謡 報國園村郁子他
  - 後八、四〇 ラヂオ風景 「借金愛ふるなかれ」山口俊雄五月信子その他
  - 後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

△十六日午前一時頃妻の實父に當る赤井村字鍋石居住農邊藤留治方一家の鑿殺を計り礦山用ダイナマイト三本に点火して床下に投込んだ事件は其後一件書類と共に選檢され三堀檢事係りの下に取調中であつたが本日殺人未遂爆發物取締違反並窃盜罪として起訴平支部の豫審に廻附された

- ### 平職業紹介所報告
- 回人を求める方  
△小店員 十六才 尋卒 仕着外三圓
  - △菓子職人 二十才 尋卒 月十五圓
  - △自動車助手 十七才 高卒 給料面談
  - △指物見習 十五才 尋卒 仕着小遣
  - △回職を求める方  
△小使 二十三才 高卒 給料面談
  - △外交員 四十七才 尋卒 給料面談
  - △雑夫 二十六才 讀書し

△(四十)橋本忠夫  
前九、一〇 料理献立「燕の味喰ふし」小林忠雄  
前一〇、三〇 家庭講座 臼井清造  
後〇、〇五 落語「猿廻し」桂小南  
後二、〇〇 家庭大學講座 「ボンベイの話」ボンベイ領事佐藤梅太郎  
後五、〇〇 東北民俗行事 講座(第九講)福島縣に於ける年末年始の行事 木口昇  
後五、三五 受験講座「物理」竹内時男  
後六、〇〇 子供の時間 童話劇「學者と村の人達」BKコードモサークル  
後六、二五 英語講座(五の六)鈴木富太郎  
後七、三〇 講演「故村山龍平氏の憶出」京大教授 法學博士末廣重雄  
後八、〇〇 浮世節 一小唄 派手な由來さん一年に一度「立花家橋之助」  
後八、四〇 連續ラヂオドラマ「復活」(一)昇曙夢原案 AK文藝課編輯

## 木村外科醫院

平町五丁目橋際  
電話九〇三番

## 東京工場

### 聯盟の自轉車

指定販賣所  
フタバ商會  
平新川町・橋際

## 鼻病、腦病

### 小壹圓貳拾錢、中貳圓、大五圓

鼻病、腦病、化學治療藥 **ピノサン**  
蓄膿症其他鼻病と頭痛症神經衰弱等の諸症が簡單にして他に類の無い一日一回の用藥で手軽に僅かな費用で治療の出来るピノサンが發表されました今すぐ用て劃期的快癒の喜を得て下さい  
御來店の方に鼻病説明書無代進呈此廣告  
御持参の方に一人一回試薬致します  
福島縣平町白銀町五(千代メッキ店裏)  
石城郡特約店 **村山書店**  
販賣御希望の方特に御相談に應ず

# 銘劍秘笈

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 山本英春 繪畫

第一百十八回 此處に崇る妖刀

不氣味な武士

おゆきの顔をしげしげと見て小首を傾けて考へてゐた一人の老婆、今おゆきが悄然と質屋から出て行くのを見ると慌たしく後に續いて立出て

婆「一寸モシ和女は青石横丁のお嬢さんではございませんか」

と呼かけられてエ、とビツクリ振返つたおゆきがジツと其の顔を見て

ゆき「オヤお前はおよしのお母さん」

婆「やつぱりお嬢さんでございしたか、マザ御無事でお目出度う存じます」

ゆき「ハイそれも伺ひましたがおよしも其の事で何か證據があつたと見え悪い事の御手引きをしたといふ廉で親父ゆるさういふ娘を家へ

入れては御屋敷へ申譯がないと直ぐ遠方へ奉行に遣はしましてございませぬ」

ゆき「マア私ゆるにおよしにまでとんだ迷惑を掛け向更面目ない」



婆「イエ、そんな事はどうでも宜しうございませぬが和女今何方にさうしてアノ采女様とやらいふ御方も御無事でございませぬか」

ゆき「アイ采女さんは五月頃から永の病で歩行も叶はず今は柴崎町の長屋を借りて細い煙を立てゝゐます」

ございませう、柴崎町といへばこれから遠くもない所私に當時福井町に住んで居りまして相變らずの貧乏ではございませぬが私共はモウ貧乏慣れて居りますゆゑのみ苦にも思ひませぬが荒い風にも當らずに御育ちなすつたお嬢さんは定めしお辛い事でもございませう、何なりと御用があつたら仰しやり付け下されば何つて御世話いたします」

およしの阿母の眞實の言葉におみきは

雪「マア娘に迷惑を掛けたる明り火にデツとお雪の顔を眺め

婆「マア下谷一番の容貌美しと評判のお嬢さまがお寢れなされた其の面差ア、御苦勞なさいましたねえ」

と思はず落す一雫、お雪も涙を拭きながら

雪「先刻顔を合した時は恥かしいと思つたが而し世の中一人として語り合ふものない中でお前に會つてこんな嬉しい事はない、今夜は家に病人を一人置いて來て心懸りゆゑ何れ其の内にお前の住居へ訪ね種々話しませうから、随分無事で」

婆「ハイどうぞお出で下さいまし、福井町の豆腐屋の裏で賃仕事をするおしんとお聞き下されば直に分ります」

雪「又私の住居は柴崎町のいづみ屋といふ安宿の路次を入ると左側の入口で汚い家だから」

婆「ハイ分りました、キツト明日にも伺ひます、途中まで御送り申上げ度うございませぬが私はこの先きにまだ一寸寄つて參らなければならぬ家がありますから

是で今晩はお暇いたしますお氣をつけてお出でなさいまし」

と茲で別れを告げおゆきは例の村正を抱へて明日の朝又出直すつもりで吾妻橋へ差掛つたばモウ四ツ、ア、定めて采女様が待詔て居なさるだらうと急ぎ足に來る後から「御女中暫らく待たつしやい」と聲をかけ橋の袂の柳の蔭からヌツと出

たる浪人体の一人の武士雪「ハイ、私でございませぬか」

と振り返りその顔を見てハツと思ひ。震へる足を踏みしめながら立ち留まると浪人は頭巾の内から目を放さず

浪「如何にも御身ぢや、先刻から御身がこゝへ來るのを待つてゐたのだ」

雪「エ、何とそんなに驚くことにはござらぬ、往來絶えたこの橋詰め先づこの石へお掛けなされい」

と震へるおゆきの手を取つて拾石に腰をかけたせ侍「御身は御存じあるまいが手前の方では能く知つてゐるのだ」

花柳外科 木村外科醫院

門專科

市原醫院

平町 田町 電話一四番

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

大和田醫院

平南町 (電話一七〇番)

吸入用酸素純度99%

度量衡

モノサシ

ハカリ

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

寒暖計

關内藥局

電話四〇番

寫真材料一式販賣致シマス

正月用トソ具超特賣

流行新時代家庭必需品

四ツ揃屠蘇具 木箱附(三)

一金一圓九十錢ヨリ

五ツ揃 全(四ツ揃ヨリ大形ニテ三重ね重箱)

一金五圓四十錢ヨリ

七ツ揃 全(五ツ揃ヨリ大形ニテ四ツ重ね重箱 銘々皿箸置き付き)

一金拾圓ヨリ

正月用白木三寶特賣

四寸十三錢 五寸十八錢 六寸二十五錢

七寸三十四錢 八寸四十三錢 九寸五十五錢

店員至急募集

小役員 十四五才 仕着外小使月三圓

外役員 十八九才ヨリ二十五六才迄

委細面談優遇

平町三丁目北裏通り

漆器専門部

榮漆器店